

木曾三川の水害の 歴史と未来

木曾三川歴史災害研究所

木曾三川(主に長島)の災害の歴史

- 1498年 **明応の地震**
- 1586年 **天正地震**
- 1605年 **慶長の地震** 洪水高潮で破堤 ・ 1619年 元和の洪水
- 1627年 寛永の洪水 潮きり ・ 1649年 慶安の洪水 長島上下郷水没
- 1681年 天和の洪水 長島上下郷水没
- 1707年 **宝永地震**
- 1815年 文化の大洪水
- 1819年 文政の地震
- 1820年 文政の洪水 収穫皆無 ・ 1835年 天保の洪水 長島一円水没
- 1847年 弘化の洪水 ・ 1850年嘉永の洪水
- 1854年 **安政の地震**
- 1860年 万延の洪水 輪中亡所多数 ・ 1868年 慶応の洪水 ・ 明治3年の洪水
- 1891年 **濃尾地震** ・ 1896年 明治29年の洪水
- 1944年 **昭和東南海地震**

長島藩が行った治水工事の例 霞堤



伊勢湾台風

- 昭和34年9月26日
- 白い部分は水
- 高潮で海岸堤防が決壊
- 全域水没
- 長島では南部を中心に383名の死者
- 被災率90%以上
- 輪中の列状集落は残る
- 12月まで水が引かない
- 子供と老人は他の市町村へ疎開
- 復旧後は景色が一変

伊勢湾台風災害空中写真





現在の木曾三川下流 (すべてが人工の地形となった)

